

今月の表紙  
全国中学校アイス  
ホッケー大会 優勝



2月4日(木)～7日(日)に青森県で行われた第30回全国中学校アイスホッケー大会で優勝した東中学校。その優勝パレード・祝賀会が2月20日(土)に行われました。

東中学校は、北海道勢など全国の強豪チームを破り、23年ぶり2回目の優勝を果たしました。北海道勢以外が優勝したのは、東中学校の2回のみで快挙といえます。

選手たちは、JR日光駅から日光総合支所までの間行われたパレードで、メダルを胸に堂々と行進。沿道に詰めかけた方から「おめでとう」などの言葉をかけられると、手を振るなどしてうれしそうに歩いていました。

その後行われた優勝祝賀会では、キャプテンの渡邊栄貴さんが「優勝できたのはコーチや先生をはじめ、応援してくれた保護者、東中生徒の皆さんのおかげです」とお礼の言葉を述べました。

なお、この大会では日光中学校も第4位となり、日光勢がそろって優秀な成績を収めました。



3月3日(水)～7日(日)、杉並木公園ギャラリーで、杉並木大学校卒業作品展が行われました。60歳以上の方が2年間学ぶ杉並木大学校。学習成果として制作した、写真・料理・陶芸・書道・水彩画・版画の作品が展示されましたが、どれも力作ぞろいでした。



杉並木大学校  
卒業作品展

今市少年少女合唱団定期演奏会

2月14日(日)、今市少年少女合唱団の第28回定期演奏会が開催されました。その中で、県内の少年少女合唱団としてはめずらしい、オペレッタの上演も行われました。演奏会は3部構成で、第1部で



合唱を、第2部では来場者も参加しての合唱を行い、第3部のオペレッタで白雪姫を上演。保護者による手作りの衣装に身を包んだ子どもたちは、大勢の観客に臆するこ

中禅寺温泉  
カマクラまつり



2月11日(木・祝)～14日(日)、中宮祠で中禅寺温泉カマクラまつりが行われました。

会場では、かまくら作りやそり遊び、スノーシュー体験などが行われ、親子で楽しく遊ぶ姿が見られました。

また夜は、雪の灯籠にろうそくで火がともされ、幻想的な雰囲気醸し出していました。

日光学まつり

2月27日(土)に中央公民館で日光学まつりが開催されました。

午前に行われた地域活動発表会では、地元で活躍している7つの団体が趣向を凝らして活動内容を発表。また、昨年から8回に渡って開催した「日光学・地域のきらり創出セミナー」に参加した方がセミナーを通して学んだことを発表しました。



午後には、四代目江戸家猫八氏を講師に迎え、「日光の自然の魅力」鳥たちのさえずりを聴きながら」と題して講演会が行われました。指笛による鳥の鳴き声など多彩なものまねレパートリーを披露して会場を沸かせながら、自然の大切さを語りました。



中学校卒業式

3月11日(木)、市内17の中学校で、計891名の門出を祝う卒業式が行われました。

今年度で閉校する川治中学校と川俣中学校では、最後の卒業式。来年度からは、それぞれ、藤原中

学校と栗山中学校に統合されます。川治中学校では、池田莉奈さん、浜翔人さん、松浦大樹さんの3名が卒業。式では、卒業証書授与や



川治中学校卒業式の様子。



川俣小中学校卒業式の様子。

学校長式辞などに続き、3人そろっての答辞がありました。答辞の中で3人は、「最後の卒業生として誇りを持って生きていきたい」と語りました。その後、川治小学校の在校生も交えて「旅立ちの日」を合唱し、会場は感動に包まれました。

川俣中学校では、併設している川俣小学校と合同で卒業式が行われ、小学校の2名と一緒に、小松知未さんが卒業。学校長式辞では、校長先生が思い出深い出来事と共に、入学から卒業までの成長を振り返り、在校生からは、心のこもったお別れの言葉が贈られました。その後の答辞で小松さんは、「卒業して別々になっても、私たちがの気持ちは離れません」と、共に学んだ在校生やお世話になった先生たちへの思いを述べました。保護者や先生、来賓の方々が涙ぐむ場面も見られ、とても感動的な式になりました。

魅力ある温泉地づくり  
シンポジウム



2月15日(月)、川治温泉で開催されたシンポジウムでは、事務局による川治温泉活性化のための活動報告や特別講演、廃校予定の川治小中学校の有効活用のための活用事例の発表などがありました。最後に「自然を活かした魅力ある温泉地づくりと学校の活用について」というテーマでパネルディスカッションが行われ、参加したパネラーからは、活発な意見が出されていました。